

令和5年6月20日

自由民主党ウインタースポーツ&リゾート議員連盟各位

一般社団法人スノースポーツ&リゾート協議会

会長 北野 貴裕

電気料金高騰に関する緊急要望

スキー場は過疎地に多く立地しており、地域の基幹産業であるとともに貴重な雇用の場ともなっております。幸い、新型コロナウイルスも毒性の少ないオミクロン株に変異し、また、インバウンドも再開しましたので、昨シーズンからスキー場もようやく賑わいを取り戻しつつあります。その中で、電気料金の高騰には非常に頭を悩ませております。福島原発事故の影響により国内のほとんどの原子力発電所が稼働を停止していることに加え、世界的なエネルギー需要の逼迫、昨今のウクライナ情勢、円安に伴う燃料費の高騰で、電気料金の支払いが約3割増加しました。リフト、ゴンドラなどの搬器に加え、人工降雪機などスキー場経営に占める電気料金の比率は少なからぬものがあります。経費削減に努めてはいますが、このまま推移するのであれば来期からはアイスクラッシャーの使用は中止せざるを得ないというスキー場もあるようです。それに加え、毎月の基本料金は最大需要電力で決まりますので、通年で営業しているスキー場はともかく、冬期だけの営業の場合は、営業していない時期も割高な基本料金を払い続けることとなります。インバウンドが見込めず、地元の利用者中心のスキー場ではリフト料金の値上げも困難です。数年来のコロナ禍の打撃に加え、電気料金の高騰はスキー場経営に大きな打撃を与えています。このような事情をご高察の上、電気料金高騰に対し、季節による電力需要の変動が大きいというスキー場の特性を踏まえた基本料金の特例の設定、高圧受電契約の条件緩和等も含め、何らかの対策をよろしくお願いします。